

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-9	中性子によるコンクリート塩分濃度非破壊検査の技術研究開発	理化学研究所 チームリーダー 大竹 淑恵	A
<p><研究の概要></p> <p>コンクリート橋等の構造物の主な損傷原因である塩害に対する未然防止、補修費の削減、長寿命化を図るため、コンクリート構造物中の塩分濃度を現場で非破壊にて測定できる中性子ポータブル塩分濃度計の開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>データ計測システムの軽量化や、土木研究所の橋梁施設での塩分測定結果等、実用化に向けた取り組みが進められており、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実橋梁での試験実施に向けた検討を早期に具体化し、関係各署との調整を早い時期に行い、適用上の問題点の把握とそれに関する注意点を明確にしていきたい。 ・実装のためには、「モニタリング技術も含めた定期点検の支援技術の活用について(参考資料)」や点検支援技術性能カタログの公募要件やカタログの 1 章の内容に対応する成果取りまとめが必要。たとえば、国総研資料 30 号、31 号のように、同種原理の検査方法全般に当てはまる、検査結果の信頼性を保証するための仕様や実証実験方法(キャリブレーション方法)などの試案をまとめるのがよい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 45 回新道路技術会議において審議したものである。